

滑川民報

第118号
2013年8月発行

連絡先 ☎475-3767
日本共産党滑川市委員会

滑川民報 議会 TPPから身近な要望まで 市当局に迫る



滑川市議会議員
古沢利之

滑川市議会6月定例会は6月7日から20日まで開催され、平成25年度一般会計補正予算など市長提出議案10件、議員提出された2件を可決して閉幕しました。古沢議員は提出議案のうち、国の求めによる地方公務員の給与削減の条例案と議員定数を1名削減する案に反対し、定数削減案に対して反対討論を行いました。

古沢議員の一般質問の要旨は次のとおりです。

TPPについて見解を求め



古沢 TPPについてはこの数年、農業に限らず広い分野に影響を及ぼすと指摘してきた。今、重大な局面にある。市長はこれまで反対の趣旨の答弁をしてきた。改めて見解を求めよう。

上田市長 私の気持ちは変わっていない反対だ。
古沢 農業会議、市長会の場を含めて、どう行動、発言していくのか。
上田市長 市長会でもこの間

確井産業民生部長 国の農林水産物の生産額が3兆円減少するとの試算に基づいて、県が試算したものと思う。滑川市がどの程度影響を受けるかというのは現時点で把握していない。

就学援助について 基準保護基準の見直しを

古沢 就学援助は学校教育法19条、「経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」との規定に基づいている。就学援助の対象は、生活保護法に規定する「要保

護者」と、市町村教育委員会が認定する「基準保護者」である。滑川市の「基準保護者」の認定所得基準は、生活保護基準の1.0倍未満とされている。県内の多くの自治体は1.2倍とか1.3倍としている。1.0倍を見直す必要がある。

市議会の議員定数 一議席削減で15名に!!

議会の機能低下に懸念

市議会最終日、自民党所属議員によって提出された、議員定数を1名削減する案が可決され、次回選挙から定数15で争われることになりました。

議員定数をめぐっては任意の議会改革検討委員会などを通じて議論されてきました。その間、商工会議所や自治会連合会との懇談も開催されました。それらを踏まえて、今定例会開催中の6月14日、

全員協議会でほとんどの議員が自らの考えを表明しました。削減の考えを示した議員もいましたが、自民党所属議員を含め、多くは現状維持の考えを表明しました。ところが1週間後の最終日、20日に自民党議員全員の連名で削減案が提出されたのです。

のなら、その理由を明確にすべきです。提案者代表による提案説明では、削減する理由も明確にはされませんでした。特に見解を変更した議員は、自らの発言に責任を持つべきです。

クラス活動費等 援助対象にせよ

古沢 「要保護」と認定された場合、クラブ活動費、PTA会費、生徒会費が援助の対象になっていない。間違いないか。
折田教育次長 平成22年度に制度改正され、費目が拡大された。「要保護」についてはクラブ活動費等が支給対象に

なっている。
古沢 「要保護」では援助対象だが、滑川市では「基準保護」とされた場合は援助対象になっていない。滑川市では先ほどのとおり、所得水準では「要保護」も「基準保護」も同じだ。

「基準保護」で、この費目が援助対象になっていないのは不合理ではないか。
折田教育次長 県内の他市町村では約半数程度が援助対象にしているようだが、各市町村の状況も踏まえて、今後検討したい。

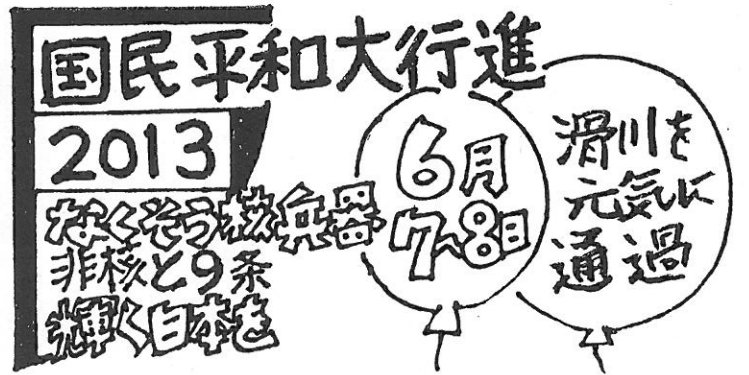
児童文書書き わかりやすくしてほしい

古沢 児童生徒の保護者への就学援助の案内をもっとわかりやすいものにすべきだ。
折田教育次長 指摘のとおり、

他市と比較しても簡略で、認定基準の具体例も示していない。今後は具体例を示すなど、もっとわかりやすいものにしたい。



滑川市内を通過する行進団(6月8日)



「核兵器の廃絶と被爆者の援護・連帯」を訴える2013年原水爆禁止国民平和行進の「富山→広島コース」が、6月6日に富山県朝日町をスタート。8月4日の広島に向けて行進が始まりました。

滑川では、6月7日の午後3時にホテルイカミュージアムから行進となりJR滑川駅前を右折し、エール横を通り吾妻郵便局前交差点を抜け寺家小学校そして市役所に夕方5時に到着。到着集会で、砂原市議会議長からの激励の挨拶と激励金を滑川市当局からの支援等を受けました。

翌8日は、8時半から出発集会を開催し、古沢市議の挨拶・通し行進者の竹田昭彦氏(神奈川県平和遺族会)の「平和行進参加への想いと核兵器廃絶・戦争反対を訴え広島まで歩きます」という決意が述べられ、50余名が市役所を後に水橋に向かいました。

なお、行進団は滑川市内の寺家小学校周辺と田中町公園周辺の2か所で「核兵器全面禁止のアピール」署名を訴えた結果、署名65筆と募金が7,900円に上ったと報告がありました。



父の兵籍簿 古沢利之

父は明治43年(1910年)生まれ。57歳で亡くなったと数年で50年になる。

当時の多くの男性がそうであったように、父も兵役の経験があった。以前から父の軍歴を具体的に知りたいと思っていたのだが、どうすればいいかわからないままだった。

だが先日、旧陸軍については、県庁に「兵籍簿」なる記録が残っていることを知った。

「兵籍簿」はいわば軍隊での履歴書。軍隊での個人の経歴が記されたもので、親族なら閲覧できるという。早速必要な書類を持って、県庁へ申請、写しをもらった。

それによると、父は昭和6年1月「現役兵」として、愛知県豊橋の騎兵第26連隊に入営、2年で除隊。その後二度召集されている。中国大陸を経て、昭和21年2月、中部太

平洋のパラオから浦賀へ復員するまで通算7年の所属部隊、派遣地などが記録されていた。

「兵籍簿」は旧字、カタカナによる手書き。よくわからないこともまだ多い。父は幸い復員して、おかげで私も存在するのだが、生死は「紙一重の差」を実感する。

国策によって翻弄された父の7年間。現政権は過去の歴史を塗り替え、憲法を変え、日本を再び戦争できる国にしようとしている。この企みを許すわけにいかない。

市が旧海洋高校跡地で建設を進めてきた「日医エスポーツアカデミー」が5月25日完成しました。人工芝サッカー場2面、クラブハウス、旧海洋高校の体育館を活用した練習場などがあります。

施設の命名権を日医工が取得し、滑川市から指定管理者となったNPO法人「フットボールセンター富山」が管理運営を行います。

「日医エスポーツアカデミー」



完成した「日医エスポーツアカデミー」サッカー場



新しい視点 展望しめす

しんぶん 赤旗

日刊紙●月3,400円
日曜版●月 800円

「一読すれば、誰でも必ず背筋がぞっとする」
自民党の「憲法改正草案」。
その全文と批判の基本点がわかります。

全批判 自民党改憲案

[付]自由民主党「日本国憲法改正草案」
日本共産党中央委員会出版局
A5判パンフレット56ページ 定価200円(税込)送料80円 ISBN978-4-530-01630-4



連続増刷!